

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

* 子午儀資料館展示品および収蔵品のまとめ

子午儀資料館が国立天文台幹事会議の儀を経て正式に認められたのは2007年12月である。この子午儀資料館はレプソルド子午儀室に国立天文台に残っていた子午儀を集約し、立ち上げたものである。整備された子午儀資料館の外観(写真1)及び看板(写真2)



写真1 子午儀資料館外観

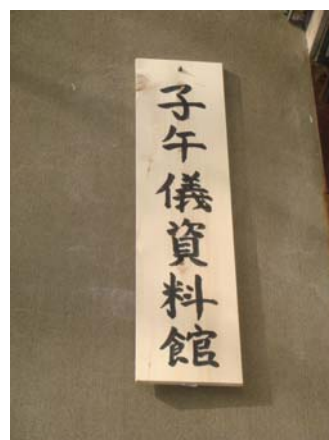


写真2 看板

展示品は

- 1) レプソルド子午儀(写真3): この子午儀はドイツで1880年に製作されたもので、1881年明治政府の海軍省観象台が購入し、1888年東京大学天象台、海軍観象台、内務省地理局の3者が統合され、東京天文台発足時に海軍観象台から東京天文台に移管されたもの。



写真3 レプソルド子午儀本体



写真4 南集心儀(視準器)

- 2) 南北集心儀1対(写真4、5)



写真5 北集心儀（視準器）



写真6 東西反転具

- 3) レプソルド子午儀東西反転具 (写真6)
- 4) レプソルド子午儀用水銀盤 (写真7)



写真7 レプソルド子午儀用水銀盤



写真8 90mm バンベルヒ子午儀1号、2号

- 5) 90mm バンベルヒ子午儀1号機及び輸送箱3点 (写真8、9)
- 6) 90mm バンベルヒ子午儀2号機及び輸送箱3点 (写真8、9)



写真9 子午儀輸送箱



写真10 70mm バンベルヒ子午儀輸送箱

- 7) 70mm バンベルヒ子午儀輸送箱 3 点 (本体は天文台プレミアム) (写真 9、10)
- 8) 50mm バンベルヒ子午儀及び輸送箱 3 点 (写真 11、写真 9 の最上部)



写真 11 50mm バンベルヒ子午儀 写真 12 トロートン・シムス子午儀

- 9) TROUGHTON & SIMMS 子午儀及び輸送箱 (写真 12、写真 13)



写真 12 トロートン子午儀輸送箱 写真 13 上の箱がトロートン子午儀鏡筒の箱

- 10) プラン子午儀の一部及び格納箱及び輸送箱 (写真 14、15)



写真 14 プラン子午儀の望遠鏡部一部 写真 15 下の箱がプラン子午儀の箱

1 1) TAMAYA 経緯儀の一部及び格納箱(写真 16、17)



写真 16 TAMAYA 経緯儀の一部 写真 15 上の箱が TAMAYA 経緯儀の箱

1 2) リーフラー時計 (No. 358) (写真 17、18)

1 3) リーフラー時計 (No. 461) (写真 17、19)



写真 17 リーフラー時計



写真 18



写真 19

1 4) リーフラー時計振子の錘(写真 20)

1 5) ゴーチェ子午環用水銀盤(写真 21)



写真 20 リーフラー時計振り錘



写真 21 ゴーチェ子午環の水銀盤

1 6) ゴーチェ子午環用視野照明用ランタン1 対 (写真 22)

1 7) ペンレコーダー2 台 (写真 23)

1 8) 古い壁掛け電話 (写真 24)



写真 22 ゴーチェ子午環用
ランタン1 対



写真 23 ペンレコーダー2 台



写真 24 壁掛け古電話

展示されていない収蔵品は、

1 9) レベルトライヤー格納箱 (写真 25) とその名盤 (写真 26)



写真 25 下の箱がレベルトライヤーの箱



写真 26 レベルトライヤーの名盤

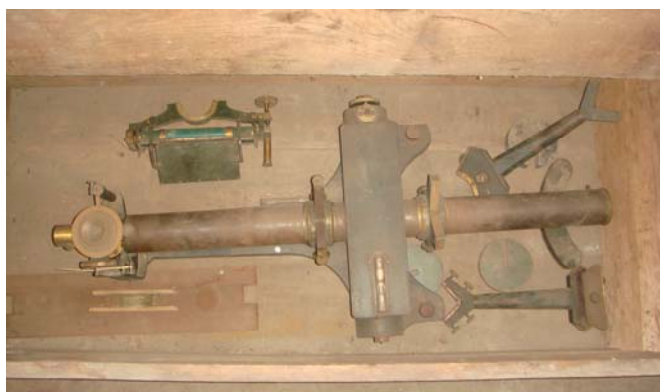


写真 27 箱の入ったままのレベルトライヤー

20) その他詳細不明のものおよびそれらを格納した木箱 (写真 28、29、30)

21) 文部省 子午儀 (一) と書かれた箱 (写真 318)



写真 26 水準器だが詳細不明



写真 27 詳細不明なもの



写真 28 上 2 段は写真 24、25 が入っている箱



写真 29 左の一番下の箱



写真 30 写真 29 の中

この子午儀資料館に展示、収蔵された子午儀のほかに 2 点の子午儀が存在している。1. 70mm バンベルヒ子午儀、2. フランス製プラン子午儀である。この 2 点は天文台プレミアムに展示されている